

Antecedents of organizational resilience in economic crises—an empirical study of Swedish textile and clothing SMEs

Pal, R., Torstensson, H., & Mattila, H. (2014).
International Journal of Production Economics, 147, 410-428.

【要約】

本論文では、スウェーデンの T&C 中小企業 8 社を対象に、アンケート調査と一連のインタビューという 2 つのフェーズで調査が行われた。またこの調査では、既存文献のレビューに基づき、レジリエンスの概念的枠組みを構築している。回答企業が、キャッシュフローや投資資金、関係ネットワーク、物質的資産などのリソースフルネスと、戦略的・経営的な柔軟性を通じた「ダイナミックな競争力」が、レジリエンスと、主に収益性、キャッシュフロー／流動性、売上高の創出を通じた財務パフォーマンスを実現するための重要な要素であると考えていることを示している。また、気配りのできるリーダーシップや集団性などの「ソフト」な学習や文化的側面が、経済的な回復力に間接的に影響を与えていることも強調されていた。

【感想】

この論文では、企業のレジリエンスを表すフレームワーク（理論）を様々な先行研究に基づき作成し、それらをもとに 8 社の企業で分析を行っている。その結果(a)投資資金とキャッシュフロー、(b)物的資産とネットワーク、(c)戦略と経営の柔軟性、(d)気配りのあるリーダーシップが重要であることが明らかになったが、是非国内の企業（とりわけ東大阪）で考えてみると興味深い結果がでるかもしれないと感じた。

しかし、この論文はサンプル数が非常に少ないのと十分な実証分析がなされていないため、改善の余地が大きくあるのではないかと考えている。